

無病息災を祈願し奉納相撲

鷹島町の宮地嶽神社で9月14日、無病息災を祈願した奉納相撲大会が行われました。

阿翁地区（澤邊数登区長）の主催で、同神社の例祭にあわせ毎年開かれています。

この日は、地区の子ども15人と大人9人が土俵入り。力のこもった取組に、観客から盛んな声援が送られていました。

澤邊区長は「若者が減り、大会運営が難しくなっていますが、地域の伝統文化を後世に継承していきたいです」と話していました。

また県の無形民俗文化財に指定されている「島踊り」

の一つである「大幟（六本の幟）」の中の阿翁地区の幟が奉納されました。



長崎国体ニュース

平成26年、本県で2度目の開催となる「第69回国民体育大会（長崎国体）」が開催されます。

県準備委員会は、8月28日長崎国体の基本指針となる「第69回国民体育大会開催基本構想」を策定。「長崎県らしい、魅力あふれる大会」を実現するため、県をはじめとする関係機関が、「文化・スポーツ融合国体」「県民総参加国体」「コンパクト国体」の3つの視点で開催準備に取り組み、併せて、国体開催を契機として地域を活性化させ、交流とにぎわいのある故郷づくりを推進することとしています。

本市は、長崎国体「なぎなた競技」の開催地です。市民総参加で長崎国体を盛り上げていきましょう。

○問合せ先

第69回国民体育大会長崎県準備委員会事務局
（長崎県国体準備課内） ☎ 095 - 895 - 2791

【メールアドレス】 kokutai@pref.nagasaki.lg.jp

【ホームページアドレス】

<http://www.pref.nagasaki.jp/kokutai/>

みんなで盛り上げよう！ 平成26年長崎国体
National Sports Festival 2014 in Nagasaki

松浦市は平成26年長崎国体「なぎなた競技」の開催地です

ソフトボールとバレーボールで熱戦

あこう旗争奪ジュニアソフトボール・ジュニアバレーボール大会が9月13日と14日、鷹島総合運動公園や鷹島スポーツ・文化交流センターなどで開催されました。

同町里免の住吉神社にある「あこうの樹」（県指定天然記念物）のように、少年期をたくましく過ごし、スポーツを通じて明るく健全な精神を養うことを目的として、毎年開催されています。

今大会には、市内や近隣市町からソフトボール10

チーム、バレーボール26チームが出場。保護者などのたくさんの声援を受けながら、選手たちは各競技で熱戦を繰り広げました。

上位の結果は次の通りです（市内チームのみ掲載）。

【ソフトボール】①今福少年ソフト ②志佐少年ソフト

【バレーボール】③飛鳥クラブ



33 卷

風土記の世界

「風土記」は、奈良時代に書かれた地理の書物です。それによる現在の長崎県と佐賀県をあわせた地方は肥前国（ひぜんこく）（対馬・壱岐は除く）と呼ばれていました。この肥前国には土蜘蛛（つちぐも）と呼ばれる人々が住み豪族たちが支配していたことが書かれています。松浦地方をはじめ各地にある古墳は、それぞれの地方を支配した豪族たちの墓と考えられます。「風土記」には多くの地名も書かれており、現在でもその地名が残っています。その頃は国の中に「郡」が置かれており、長崎県にあたる所には「彼杵郡」・「高来郡」、それに「松浦郡」があり、現在でも「北松浦郡・南松浦郡・東松浦郡」と呼んでいます。また、それぞれの土地でとれる産物についても書かれています。今の松浦地方から五島列島は米などの農産物はあまりとれませんでした。海産物はたくさんとれたので、税金のようにして差し出したものと思われまふ。

松浦市に「御厨」という地名があります。「御厨」とは、皇室や伊勢神宮などに魚介類などの海産物を献納する土地についた名称で、その範囲は伊万里市の伊万里湾の西側一帯から現在の松浦市、平戸市、北松浦郡、佐世保市、南松浦郡を含む広い範囲であったと思われる。

「御厨」の名称は、鎌倉時代には荘園となり、宇野御厨莊・御厨莊と呼ばれていました。

肥前国
比叺郡
壱岐郡
松浦郡
彼杵郡
高来郡
小浜郡
志式部郡
美濃郡
三井郡
大湊町
生月町
平戸市
佐世保市
松浦市
小浜市
志式部市
美濃市
三井市



▶肥前国の地名



フィオナ先生
(オーストラリア出身)

My loved ones from Australia
オーストラリアからやって来た私の愛する人々

松浦滯在も2年目になると、多くの人から私が夏休みにオーストラリアに帰国したかどうか尋ねられます。オーストラリアに帰らなかったと言うと、ほとんどの人々が驚きます。なぜ、オーストラリアに帰らなかったかという、幸運にもオーストラリアから多くの友達が私を訪ねて来てくれて、一緒に日本を旅行しているからです。

昨年のクリスマスには、メルボルンに住んでいる日本人の友達が、私を訪ねて来てくれました。今年の1月には、オーストラリア人の親友が東京にやって来て、浅草、東京タワー、原宿、皇居など東京の名所を一緒に訪れました。3月の桜が咲くころにも友達がやって来て、一緒に宮島や京都を1週間旅行しました。そして5月には両親も松浦に来てくれて、滞在中は松浦の友人の皆さんが、昼食や夕食に招待してくれました。本当に良い思い出ができました。最近では、高校時代の友人と岡山県の後楽園や、広島県の尾道市、そして映画「ポニョ」の舞台にもなった福山市の鞆の浦にも行ってきました。

オーストラリアからやって来た私の愛する人々と一緒に訪れた場所は、このすばらしい国の一部です。だから、この国を離れたくないと思うのも当然でしょう。

